

**Panasonic**<sup>®</sup>

## 取扱説明書

---

マルチメディア授業支援システム

サーバー連携ソフト

品番 WE-AS881A

このたびは、サーバー連携ソフトをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

# はじめに

---

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。また、本書には正確な情報を記載するように努めましたが、誤りや不正確な記述があった場合にも、松下電器産業株式会社（Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.）はいかなる責任、債務も負わないものとします。

## 商標および登録商標について

---

- L3 Stageは、松下電器産業株式会社の商標です。
- PERSONAL SURROUNDは、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- Adobe®、Adobeロゴ、Acrobat® Reader®は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft®、Windows®およびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

## 著作権について

---

本製品を使用して、他人の著作物（例：CD、DVD、ビデオなどの媒体に収録されている映像・音声・静止画など）を録音、録画、編集する場合、以下の点に注意する必要があります。

- (1) 著作権上、個人的に使用する目的で著作物を複製する場合を除き、その他の複製あるいは編集などが著作権を侵害する恐れがあります。収録されている媒体などにより示されている権利者、販売元または権利者団体などを介して、著作権・著作権者から許諾を得て、複製、編集などを行う必要があります。
- (2) 学校その他の教育機関における著作物（教材など）の複製は、著作権法第35条で、その授業の過程における使用に供することを目的とする場合には、必要と認められる限度において、かつ著作権者に損害を与えない範囲において著作物を複製できる、となっています。また、著作物（教材など）、またはその複製物は、著作権者の権利を侵害しない限り、お客様の責任において自由にお使いいただくことができます。

# もくじ

---

## ●はじめに

はじめに .....	2
商標および登録商標について .....	2
著作権について .....	2
パッケージの内容 .....	4
免責について .....	4
本書およびマニュアルについて .....	5
主な機能 .....	8
システムの準備 .....	9

---

## ●運用編

システムの起動／終了 .....	11
教材データをコピーする .....	13

---

## ●導入設置編

セットアップ .....	16
セットアップ手順 .....	16
事前準備 .....	18
IPアドレス、ポート番号設定 .....	18
FTPサーバーの設定 .....	19
インストール .....	21
インストール方法の詳細 .....	21
教室サーバーソフトのセットアップ .....	23
教材配信サーバーソフトのセットアップ .....	25
サーバー連携運用管理ソフトのセットアップ .....	28
動作確認 .....	30

---

## ●付録

トラブルシューティング .....	31
-------------------	----

---

# パッケージの内容

---

- CD-R（次のデータが収められています）
  - ・サーバー連携運用管理ソフト
  - ・教材配信サーバーソフト
  - ・教室サーバーソフト
- 取扱説明書（本書）

## 免責について

---

- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  - ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
  - ② お客様の誤使用や不注意による損害または本商品、教材の破損等
  - ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  - ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、運用（授業を含む）ができないことなどによる不便・損害・被害
  - ⑤ 第三者が製造した機器、ソフトウェア等（弊社が組み込みあるいは推奨したかどうかにかかわらず）の不具合またはそれらと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  - ⑥ 利用者または第三者により、本商品を構成するネットワークの管理者エリア等へ不正アクセスが行われ、あるいは当該ネットワークから外部ネットワークへ不正アクセスが行われること、またはかかる不正アクセスに伴う不具合および損害・被害等（データの改ざん、個人情報の漏えいを含む）

# 本書およびマニュアルについて

---

## ●本書の見かた

本書は、“運用編”と“導入設置編”に分かれています。

### 運用編

教材準備室から各教室への教材のコピー方法について説明しています。  
システム管理者および工事業者の方は、はじめによくお読みください。

### 導入設置編

教室準備室／各教室にある各サーバーへのインストールや環境設定など、設置に関する内容に関して説明しています。  
システム管理者および工事業者の方は、はじめによくお読みください。

## ●対象読者

- ・ 本書は、本システムを導入設置される方を対象に記述しています。  
本システムを導入設置するためには、Windows 2000Server、Windows Server2003、ネットワークに関する知識が必要です。

## ●文章上の表現

- ・ "☞" は、参照ページをあらわしています。

## 本書で使用している用語について

- ・ オーディオサーバー : 音声教材、アナライザー教材などを登録しておくサーバーです。
- ・ 教材配信サーバー : 教材準備室などにある教材のコピー元となるサーバーです。
- ・ 教室サーバー : 各教室にある教材のコピー先となるサーバーです。
- ・ 自動蓄積教材 : 授業中に教材を送出しながらサーバーに蓄積された教材です。

# 本書およびマニュアルについて（つづき）

---

- ・全ミラー／差分ミラー：本システムでは、教材配信サーバーから各教室の教室サーバーに教材データをコピーすることを「ミラー」といいます。  
全ミラー：教材配信サーバー内の全教材データを、各教室のサーバーに対してコピーすることです。  
差分ミラー：教材配信サーバーと各教室サーバー内の教材データの差分のみをコピーすることです。
- ・ビデオサーバー：WBT型教材の動画ファイルを登録しておくサーバーです。
- ・ファイル配信サーバー：ファイルの配布や回収を行うサーバーです。また、WBT型教材も登録します。
- ・マルチメディア  
授業支援システム  
(L3 Stage)：パソコンを最大限に活かした語学学習（聞く・話す・読む・書く）、情報リテラシーの学習をサポートするための授業支援システムです。

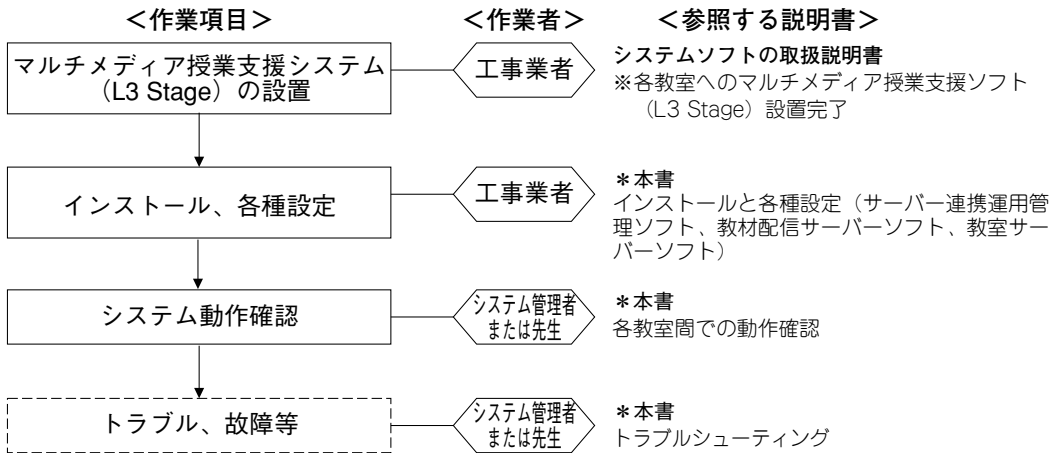
## 略称について

本書では、米国Microsoft Corporationの各製品を下記のように表記しています。

- ・Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition日本語版：Windows Server 2003
- ・Microsoft Windows 2000 Server日本語版：Windows 2000 Server
- ・Microsoft Windows XP Professional日本語版：Windows XP
- ・Microsoft Windows 2000 Professional日本語版：Windows 2000

また、上記製品のうちいくつかに関して共通の説明を記載している箇所では、これらをまとめてWindowsと表記しています。

●サーバー連携ソフトの設置～運用・メンテナンスは、以下の手順に従って行ってください。



□ は、必ず行ってください。

□□□ は、必要に応じて行ってください。

# 主な機能

本ソフトウェアは、マルチメディア授業支援システム用のサーバー連携ソフトです。

- マルチメディア授業支援システムで使用する場合、蓄積設定で各教室のサーバーに蓄積された教材を教材準備室のサーバーへコピーし、教材準備室の各サーバーに蓄積されている教材を他の教室にあるサーバーへコピーするなどの運用が可能になります。
- スケジュール機能により、「曜日／時間／対象教室」を指定しておくことで、各教室のサーバーに教材を自動的にコピーすることができます。

## <例> 教材配信サーバー2台、1教室でサーバー2台構成

目安所要時間：1GBの容量で最低15分以上（全ミラー時）

### 📌注意📌

ネットワーク環境などによって所要時間は異なりますので、ご注意ください。

- 各教室のサーバーへすぐにコピーしたい場合には、手動モードでコピーを行うことにより、迅速に対応することができます。
- ログ表示機能により、現在の状況をリアルタイムに把握することができ、保守メンテナンスに優れています。



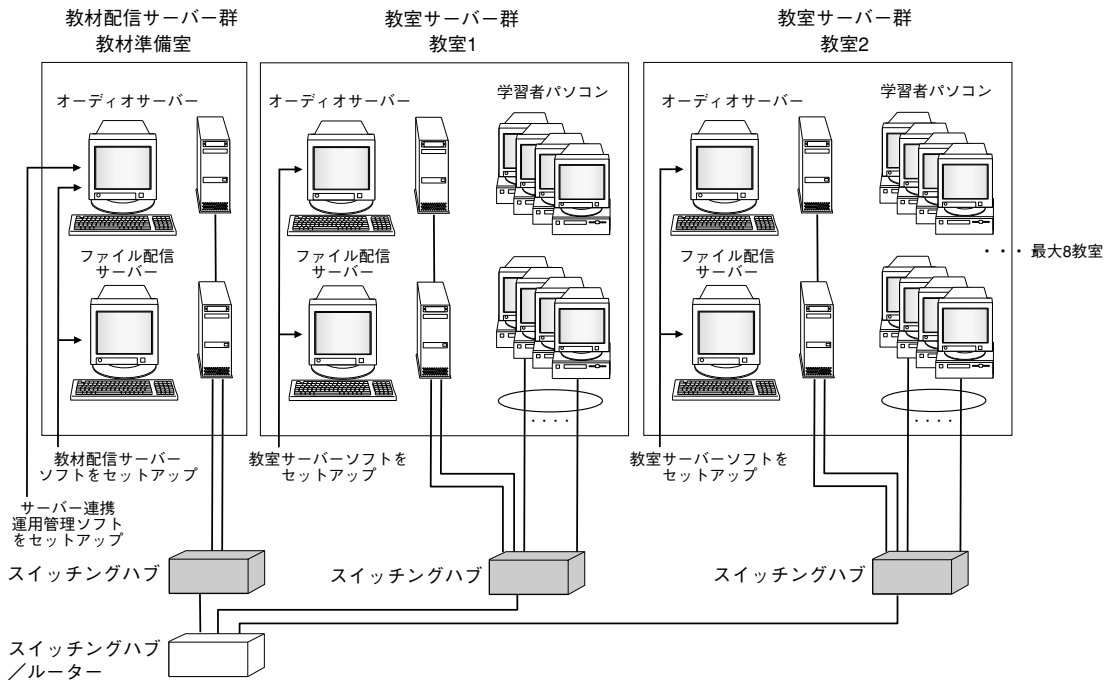
# システムの準備

## サーバー連携ソフトウェア構成

本ソフトウェアは、サーバー連携運用管理ソフト、教材配信サーバーソフト、教室サーバーソフトの3つのソフトウェアから構成されます。下記にマルチメディア授業支援システム（L3 Stage）標準構成例を記述します。

- ・サーバー連携運用管理ソフト：サーバー連携システム全体の運用管理を行います。
- ・教材配信サーバーソフト：サーバー連携運用管理ソフトからの指示に従って、各教室サーバーに対する教材のコピー制御を行います。
- ・教室サーバーソフト：教材配信サーバーから教材のコピーを行います。

＜システム構成例＞



※システム構成は、使用目的や設置環境によって異なります。

※ビデオサーバー（別売品）をご使用の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

### 注意

教室サーバーソフトでは、ドライブのルートミラー対象先として設定することはできません。

## システムの準備（つづき）

---

### ●ネットワーク

システムを構成するネットワーク部品は、サーバー構成によって異なります。

具体的な構成については、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

### 📌注意📌

スイッチングハブの機種、品番については、お買い上げの販売店へお問い合わせください。再生する動画の種類および接続端末数によって、必要な機器などが異なります。

# システムの起動／終了

---



## システムの起動／終了

本システムは、各サーバーのOSを起動すると自動的に起動され、各サーバーのOSを終了する際に、自動的に終了されます。

## 操作のしかた

本システム起動後の操作は、サーバー連携運用管理ソフト画面で行います。操作には、「曜日／時間／教室」を指定して、毎週決められた時間に教材をコピーする「自動実行」と、コピー先の教室を指定して手動でコピーする「手動実行」があります。

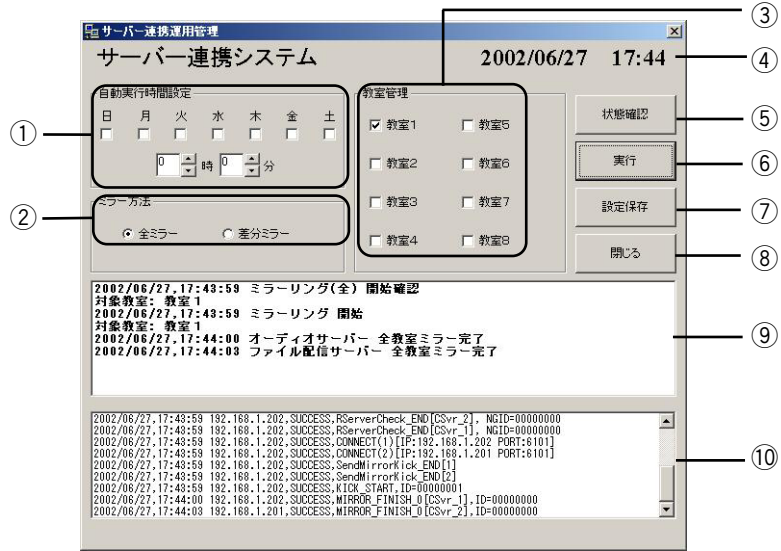
## サーバー連携運用管理ソフトを起動する

1. Windowsの「スタート」メニューから「プログラム」→「サーバー連携」→「サーバー連携運用管理」をクリックします。
2. サーバー連携運用管理画面（12ページ）が表示されます。  
→画面の操作については、12ページをお読みください。
3. サーバー連携運用管理画面を閉じる場合は、「閉じる」ボタンをクリックしてください。  
コピー中に画面を閉じて問題はありません。

# システムの起動／終了（つづき）

## サーバー連携運用管理画面説明

図 サーバー連携運用管理画面



- ① 【自動実行時間設定】：自動コピーを行う曜日／時間を指定します。  
曜日を指定していない場合は、実行されません。
- ② 【ミラー方法】：全てのファイルを上書きコピーする（全ミラー）か、差分ファイルのみコピーする（差分ミラー）を選択します。
- ③ 【教室管理】：コピーする対象の教室を選択します（複数教室選択可能）。
- ④ 【時間表示】：現在の時刻を表示します。
- ⑤ 【状態確認】 ボタン：教材配信サーバー、教室サーバーの状態を確認します。
- ⑥ 【実行】 ボタン：手動でコピーを実行します。教室が選択されていない場合は、実行されません。
- ⑦ 【設定保存】 ボタン：設定した内容を保存します。
- ⑧ 【閉じる】 ボタン：画面を閉じます。画面が閉じてもサーバー連携システムは継続されています。
- ⑨ 【状態表示領域】：コピー、稼働状況、状態確認ボタンを押した結果を表示します。
- ⑩ 【ログ表示領域】：ログ情報を表示します。

# 教材データをコピーする

## 自動実行する

「曜日／時間／教室」をあらかじめ設定保存しておくこと、設定内容に基づいて自動的にコピーします。

1. [自動実行時間設定] で、コピーを実施する「曜日／時間／教室」を選択します。
2. [ミラー方法] で、全てのファイルをコピーする場合は「全ミラー」、差分ファイルのみコピーする場合は「差分ミラー」を選択します。
3. [教室管理] で、コピー先の教室名のチェックボックスにチェックします。
4. [設定保存] ボタンをクリックします。  
→指定した時間になると、自動的にコピーが開始されます。
5. コピーが開始されると[状態表示領域]内には、「ミラーリング開始」と表示されます。
6. 正常にコピーが終了すると、[状態表示領域]内に「\*\* (サーバー連携ユーティリティで設定した教材配信サーバー名) 全教室ミラー完了」と表示されます。

### 注意

- 教室管理欄で表示させる教室名は、運用管理用ユーティリティで登録しておく必要があります。
- スケジュールの登録は1件のみです。
- 登録後は、設定の変更を行わない限り、自動実行されます。
- 授業運用中の時間に重ならないように設定してください。
- 夜間にコピーする設定の場合などは、各サーバーの電源、各教室間が接続されているネットワーク機器の電源は入れたままの状態にしておく必要があります。
- 自動コピー実行中は、キャンセルできません。キャンセルする場合は、教材配信サーバーの「サービス」を停止することで停止可能です。
- 教材数が多くなると「差分ミラー」を選択しても、コピーに時間がかかる場合があります。
- 手動コピー中に、自動コピーは実行されません。
- 各教室サーバー内に蓄積された自動蓄積教材をミラーリングするには、運用管理用ユーティリティの自動蓄積教材設定を有効にしてください (☞29ページ)。

# 教材データをコピーする（つづき）

## 手動実行する

すぐに教材データをコピーしたい場合、対象教室を選択し、[実行] ボタンを押すことで手動実行することができます。

1. [ミラー方法] で、全てのファイルをコピーする場合は「全ミラー」、差分ファイルのみコピーする場合は「差分ミラー」を選択します。
2. [教室管理] で、コピー先の教室名のチェックボックスにチェックします。
3. [実行] ボタンをクリックします。  
→実行確認パネルが表示され、[OK] ボタンをクリックすると、コピーが開始されます。
4. コピーが開始されると[状態表示リスト] 内には、「ミラーリング開始」と表示されます。
5. 正常にコピーが終了すると、[状態表示リスト] 内で「\*\*（運用管理用ユーティリティで設定した教材配信サーバー名）全教室ミラー完了」と表示されます。

### 注意

- 教室管理で表示させる教室名は、運用管理用ユーティリティに登録しておく必要があります。
- 自動コピー中は、手動コピーできません。
- 授業運用中の時間中は、コピーを行わないでください。
- 手動コピー実行中は、キャンセルできません。キャンセルする場合は、教材配信サーバーの「サービス」を停止することで停止可能です。
- 各教室サーバー内に蓄積された自動蓄積教材をミラーリングするには、運用管理用ユーティリティの自動蓄積教材設定を有効にしてください（[29](#) ページ）。

## 状態を確認する

教材配信サーバー、教室サーバーが正常に稼働しているかどうかなど、サーバー連携システムの状態を確認したい場合、[状態確認] ボタンをクリックすると、確認することができます。

システムの状態は、[状態表示領域] に表示されます。以下に、教室サーバーとの接続に失敗した際に表示されるエラー内容を示します。詳細内容については、「トラブルシューティング」をお読みください。

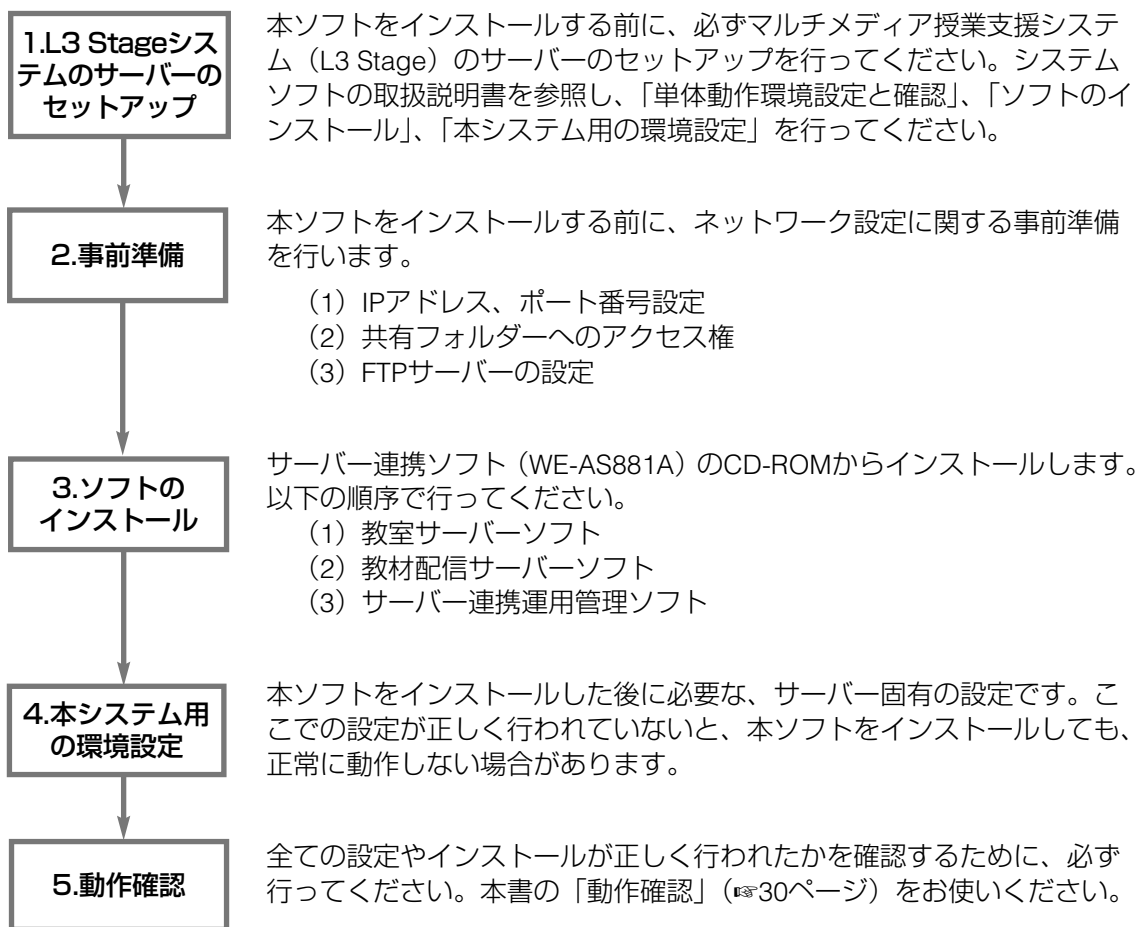
```
2002/06/27,19:29:01 状態確認開始
対象教室: 教室1
2002/06/27,19:29:01 オーディオサーバー(センター)待機中
IPアドレス:192.168.1.202
2002/06/27,19:29:01 オーディオサーバー(教室1)待機中
IPアドレス:192.168.1.204 ミラーパスID=00000001
2002/06/27,19:29:01 オーディオサーバー(センター) EIPパスID=00000001
2002/06/27,19:29:22 ファイル配信サーバーとの接続失敗

2002/06/27,19:29:01 192.168.1.202,SUCCESS,STATUSFORWARD_START,ID=00000001
2002/06/27,19:29:01 0.0.0.0,SUCCESS,CONNECT(1)[IP:192.168.1.202 PORT:6101]
2002/06/27,19:29:01 192.168.1.202,SUCCESS,STATUS_WAIT[CSvr_1]
2002/06/27,19:29:01 192.168.1.202,SUCCESS,STATUS_WAIT[CSvr_1],ID=00000001,192.168.1.204
2002/06/27,19:29:01 192.168.1.202,SUCCESS,CSEVER_FTP,ID=00000001
2002/06/27,19:29:01 192.168.1.202,SUCCESS,STATUSFORWARD[1]_END
2002/06/27,19:29:22 192.168.1.202,ERROR,CONNECT(2)[IP:192.168.1.20 PORT:6101]
2002/06/27,19:29:22 192.168.1.20,ERROR,STATUSFORWARD[2]_END
```

# セットアップ

## セットアップ手順

本システムのセットアップは、以下の手順で行います。



セットアップ手順は、各機器ごとに共通の内容と、個別の内容とがあります。次ページ以降の各機器ごとのセットアップの流れに沿って作業を行い、実施確認をしてください。詳細方法については、記載ページをご参照ください。

### ☞注意☞

- セットアップの各作業は、各機器ともAdministrator権限を持つユーザーでログインして行ってください。
- ビデオサーバーをご使用の場合は、別売のビデオサーバーソフト（WE-AS880A）をインストールし、設定は関連する記述をお読みください。



## ●セットアップ手順

確認

事前確認	1. 各種サーバーの単体動作環境設定と確認 (☞システムソフト (WE-AS810A またはWE-AS860A) の取扱説明書)	
	2. 各種サーバーソフトのインストール (☞システムソフト (WE-AS810A またはWE-AS860A) の取扱説明書)	
	3. システムソフト用の環境設定 (☞システムソフト (WE-AS810A またはWE-AS860A) の取扱説明書)	
事前準備	1. IPアドレス、ポート番号の設定 (☞18ページ)	
	2. 共有フォルダーへのアクセス権設定 各教材配信サーバーから各教室サーバー (ファイル配信サーバー、オーディオサーバー) 上に作成されている共有フォルダーに対し、アクセス権を「フルアクセス」に設定してください。	
	3. FTPサーバーの設定 (L3 Stageシステム用に追加して設置するサーバーがある場合) (☞19ページ)	
ソフトウェアのインストールおよびセットアップ	1. 各ソフトの旧バージョンのアンインストール (インストールされている場合のみ) (☞22ページ) ☞注意☞ データは必ずバックアップしておいてください。	
	2. 教室サーバーソフトのインストール (☞21ページ) Setup.exeの格納場所 (WE-AS881A CD-ROM) : ¥Roomフォルダー内 ☞注意☞ インストール先は変更しないでください。	
	3. 教室サーバーソフトのユーティリティ設定 (☞23ページ)	
	4. 再起動	
	5. 教材配信サーバーソフトのインストール (☞21ページ) Setup.exeの格納場所 (WE-AS881A CD-ROM) : ¥Centerフォルダー内 ☞注意☞ インストール先は変更しないでください。	
	6. 教材配信サーバーソフトのユーティリティ設定 (☞25ページ)	
	7. 再起動	
	8. サーバー連携運用管理ソフトのインストール (☞21ページ) Setup.exeの格納場所 (WE-AS881A CD-ROM) : ¥Managerフォルダー内 ☞注意☞ インストール先は変更しないでください。	
	9. サーバー連携運用管理ソフトのユーティリティ設定 (☞28ページ)	
	10. 再起動	

動作確認へ (☞30ページ)

# 事前準備

## IPアドレス、ポート番号設定

本ソフトをインストールする前に、各サーバーのIPアドレス、使用するポート番号、コピー元／コピー先などをあらかじめ設定しておく必要があります。サーバー連携運用管理ソフト、教材配信サーバーソフト、教室サーバーソフトの接続イメージ、設定例を以下に示します。下記図中の番号①～⑦は、下記表のポート番号に対応しています。同じ番号のものは、同じ値を設定する必要があります。インストール中に表示される各ユーティリティ画面(☞23,25,28ページ)で設定してください。

図 接続イメージ

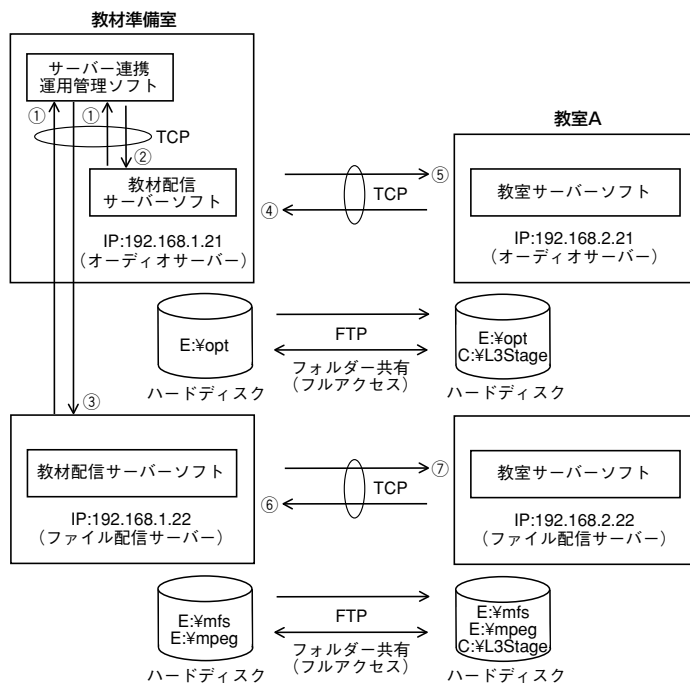


表 IPアドレス、ポート番号設定例

教室名	ソフト名 (端末名)	IPアドレス	ポート番号
教材準備室	サーバー連携運用管理 (オーディオサーバー)	192.168.1.21	6100 (教材配信サーバー通信用①)
	教材配信サーバー (オーディオサーバー)	192.168.1.21	6101 (運用管理通信用②) 6103 (教室サーバー通信用④)
	教材配信サーバー (ファイル配信サーバー)	192.168.1.22	6101 (運用管理通信用③) 6103 (教室サーバー通信用⑥)
教室A	教室サーバーA (オーディオサーバー)	192.168.2.21	6102 (教材配信サーバー通信用⑤)
	教室サーバーA (ファイル配信サーバー)	192.168.2.22	6102 (教材配信サーバー通信用⑦)

---

## FTPサーバーの設定

マルチメディア授業支援システム（L3 Stage）に追加して教材配信サーバーを設置する場合、以下の手順で設定を行ってください。

### ●FTPサーバーをインストールする （オーディオサーバー／ビデオサーバー）

教材配信サーバー、FTPサーバーがセットアップされている必要があります。

1. Windowsの「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を開きます。
2. 「Windows コンポーネントの追加と削除」をクリックします。  
→Windowsコンポーネントウィザード画面が表示されます。  
  
WindowsServer 2003の場合は、「アプリケーションサーバー」を選択し、「詳細」ボタンをクリックします。  
→アプリケーションサーバー画面が表示されます。
3. 「インターネットインフォメーションサービス（IIS）」を選択し、「詳細」ボタンをクリックします。
4. サブコンポーネントから「FTP（File Transfer Protocol）サーバー」をチェックし、「OK」ボタンをクリックして、ウィンドウを終了します。  
Windows コンポーネントウィザード画面で「次へ」ボタンをクリックします。  
→FTPサーバーコンポーネントが追加されます。

## 事前準備（つづき）

### ●FTP設定のしかた

教材配信サーバーの「FTPパスの設定」で登録したパスに対する仮想パスを登録する必要があります。

1. Windowsの「コントロールパネル」から「管理ツール」を開き、管理ツール画面上で「インターネットサービスマネージャ」を選択します。  
→インターネットインフォメーションサービス画面が開きます。
2. インターネットインフォメーションサービス画面で規定のFTPサイトが選択されている状態で、「操作」→「新規作成」から「仮想ディレクトリ」を選択します。
3. 「mfs」を登録する場合は、仮想ディレクトリエイリアスのエイリアスに「mfs」を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。
4. ディレクトリパスの「ディレクトリ」に、「mfs」の実際のパスを入力し、「次へ」ボタンをクリックします。
5. アクセス許可は、「読み取り」、「参照」をチェック状態に設定し、「次へ」ボタンをクリックします。
6. 「完了」ボタンをクリックします。  
→仮想ディレクトリの作成ウィザードが終了します。
7. 教材配信サーバーのFTPパスの設定で、複数のパスが登録されている場合は、上記2～6の作業を繰り返し行ってください。

表 仮想パス設定例

サーバー名	仮想パス
オーディオサーバー	mfs
ファイル配信サーバー	opt mpeg (WE-AS810Aの場合) ※ビデオサーバー有りの場合は不要
ビデオサーバー (オプション)	mfs mpeg (WE-AS810Aの場合)

# インストール

---

## インストール方法の詳細

### ●セットアッププログラムの開始方法

ここでは、各ソフトで操作手順が共通なセットアッププログラムの開始方法について説明します。ユーティリティ設定の方法については、該当するページをお読みください。

- ①インストールするサーバーに、本ソフト（WE-AS881A）のCD-ROMをセットします。
- ②マイコンピュータのアイコンをダブルクリックします。
- ③CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックします。
- ④各セットアッププログラムが格納されているフォルダーを開き、  
setup.exeをダブルクリックします。  
\* setup.exeの格納先フォルダーは、セットアップ手順（☞17ページ）  
をお読みください。  
→セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ⑤ライセンス契約画面では、内容をよくお読みいただき、同意される場合は、[はい] ボタンをクリックします。
- ⑥「インストール先フォルダの選択」の画面でインストール先のフォルダーを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。
- ⑦「アイコンのグループ名選択」の画面が表示されます。初期設定でよい場合は「次へ」ボタンをクリックします。
- ⑧「ファイルのコピー」の画面が表示されます。開始してもよい場合は、「次へ」ボタンをクリックします。  
→インストール中画面が表示され、セットアップが開始されます。
- ⑨セットアップが終了すると、各種ユーティリティ画面が表示されます。以降の操作手順は、該当するページをお読みください。

# インストール (つづき)

---

## ●アンインストール方法

各ソフトのアンインストールは、以下の手順で行ってください。

- ①Windowsの「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を開きます。
- ②ダイアログリストの中からアンインストールするソフトを選択します。
  - ・教室サーバーソフト→L3Stageサーバー連携システム (教室サーバー)
  - ・教材配信サーバーソフト→L3Stageサーバー連携システム (教材配信サーバー)
  - ・サーバー連携運用管理ソフト→L3Stageサーバー連携システム (制御)
- ③ [変更/削除] ボタンをクリックします。その後、画面の指示に従って操作してください。

### 🔔注意🔔

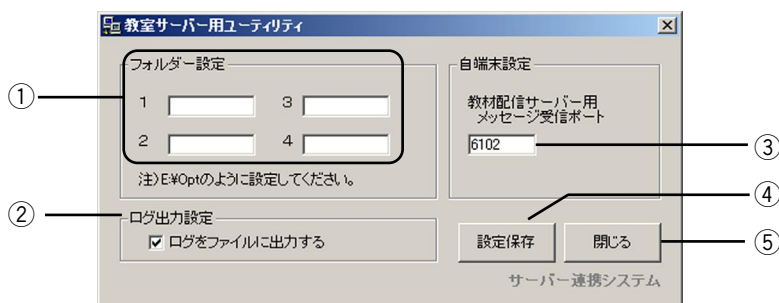
アンインストール時に「共有コンポーネントの削除確認」画面が表示される場合があります。その場合は、「削除する」を選択してください。

## 教室サーバーソフトのセットアップ

教室サーバーソフトは、すべての教室サーバーにインストールします。

1. セットアップが終了したら、教室サーバー用ユーティリティ画面が表示されます。導入設置の事前準備 (※18ページ) の設定例を参考に設定し、[設定保存] ボタンをクリックします。  
→確認画面が表示されます。設定内容を確認して [閉じる] ボタンをクリックしてください。

図 教室サーバー用ユーティリティ画面



- ① **【フォルダー設定】** : コピー先フォルダーを指定します。ミラー先パス設定の番号は、教材配信サーバーのFTPパス設定の番号に対応しています。
  - ② **【ログ出力設定】** : ログファイルへの出力を行う場合はチェックします。ログファイルは教室サーバーソフトをインストールしたフォルダー内に作成されます。ファイル名は「RoomSvr.log」です。
  - ③ **【自端末設定】** : 教材配信サーバーとの通信受信用ポート番号を設定します。ポート番号は教材配信サーバーの教室サーバー設定と同じポート番号になります。
  - ④ **【設定保存】 ボタン** : 設定した内容を保存します。
  - ⑤ **【閉じる】 ボタン** : ユーティリティ画面を閉じます。設定内容を保存する場合は、[設定保存] ボタンをクリックし、設定確認画面で [OK] ボタンをクリックしてから、[閉じる] ボタンをクリックしてください。
2. インストール終了画面が表示されます。Windowsを再起動してもよい場合は、[OK] ボタンを、再起動しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
  3. Windowsの「コントロールパネル」から「管理ツール」を開き、「サービス」を選択してサービス画面を表示します。「L3Stage Data Mirroring Sub」の状態が「開始」、スタートアップの種類が「自動」になっていることを確認します。

## インストール (つづき)

---

### ●インストール後の設定変更のしかた

1. Windowsの [スタート] メニュー→「プログラム」→「サーバー連携」の「教室サーバー用ユーティリティ」をクリックします。
2. 教室サーバーユーティリティ画面 (☞23ページ) が表示されます。  
→設定方法については、☞23ページをお読みください。
3. 設定が完了したら、[設定保存] ボタンをクリックします。  
→設定確認画面が表示されます。
4. 設定確認画面で [OK] ボタンをクリックしてから、[閉じる] ボタンをクリックしてください。



## 教材配信サーバーソフトのセットアップ

教材配信サーバーソフトは、すべての教材配信サーバーにインストールします。

### ●ユーティリティ設定

1. セットアップが終了したら、教材配信サーバーソフト用ユーティリティ画面が表示されます。事前準備 (☞18ページ) の設定例を参考にして設定し、[設定保存] ボタンをクリックします。  
→確認画面が表示されます。設定内容を確認して [閉じる] ボタンをクリックしてください。

図 教材配信サーバー用ユーティリティ画面

- ① **【制御端末用 メッセージ受信ポート】**  
：サーバー連携運用管理ソフトとの通信用受信ポート番号を設定します。運用管理用ユーティリティの教材配信サーバー設定で設定した内容と同じである必要があります。
- ② **【教室サーバーメッセージ受信ポート】**  
：教室サーバーとの通信用受信ポート番号を設定します。
- ③ **【IPアドレス設定】**  
：教材配信サーバーに2枚のネットワークカードが搭載されている場合は、サーバー連携に使用する側のIPアドレスを設定します。
- ④ **【FTPパス設定】**  
：コピーする教材が保存されているFTPパスを設定します。設定するパスは、FTPサーバーに設定した仮想パスを設定します。パス設定の先頭に「スラッシュ (/)」を入力する必要があります。入力しなかった場合は自動的に追加されます。  
<例> /opt

# インストール (つづき)

## ⑤ 【ログ出力設定】

: ログファイルへの出力を行う場合はチェックします。ログファイルは教材配信サーバーソフトをインストールしたフォルダ内に作成されます。ファイル名は「CenterSvr.log」です。

## ⑥ 【教室サーバー設定】

: 教材をコピーする対象サーバーのIPアドレス、ポート番号を指定します。

※教室サーバーユーティリティの「自端末設定」で設定した値と同じ値に設定します。

### ⓘ 注意 ⓘ

教材配信サーバーのファイル配信サーバーから各教室のファイル配信サーバーへ、教材配信サーバーのオーディオサーバーから各教室のオーディオサーバーへコピーするように設定してください。

⑦ 【設定保存】 ボタン: 設定した内容を保存します。

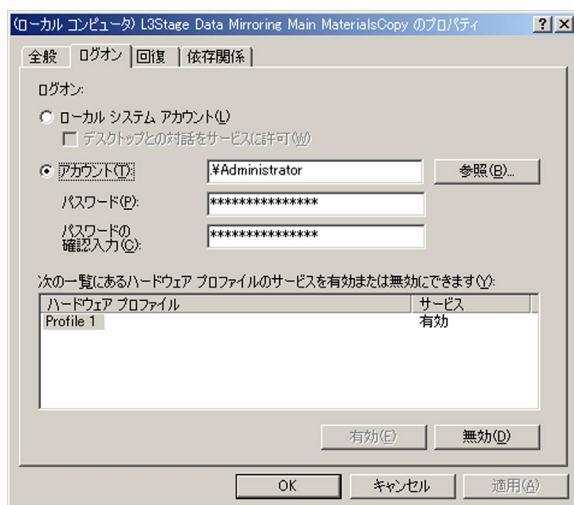
⑧ 【閉じる】 ボタン: ユーティリティ画面を閉じます。設定内容を保存する場合は、「設定保存」ボタンをクリックし、設定確認画面で「OK」ボタンをクリックしてから、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

2. インストール終了画面が表示されます。Windowsを再起動してもよい場合は [OK] ボタンを、再起動しない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

3. Windowsの「コントロールパネル」から「管理ツール」を開き、「サービス」を選択してサービス画面を表示します。「L3Stage Data Mirroring Main」の状態が「開始」、スタートアップの種類が「自動」になっていることを確認します。

「L3Stage Data Mirroring Main MaterialsCopy」のプロパティ画面を開き、「ログオン」タブを選択します。「アカウント (T)」をクリックし、Administrator権限のあるユーザー名とパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。その後、「L3Stage Data Mirroring Main MaterialsCopy」のサービスを再起動してください。

図 L3Stage Data Mirroring Main MaterialsCopyのプロパティ画面



**注意**

Administrator権限のあるユーザーが、各教室サーバーの各種共有フォルダーに対してフルアクセスできる必要があります。

●インストール後の設定変更のしかた

1. Windowsの [スタート] メニューから「プログラム」→「サーバー連携」の「教材配信サーバー用ユーティリティ」をクリックします。
2. 教材配信サーバー用ユーティリティ画面 (☞25ページ) が表示されます。  
→設定方法については、☞25～27ページをお読みください。
3. 設定が完了したら、[設定保存] ボタンをクリックします。  
→設定確認画面が表示されます。
4. 設定確認画面で [OK] ボタンをクリックしてから、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

# インストール (つづき)

## サーバー連携運用管理ソフトのセットアップ

サーバー連携運用管理ソフトは、教材配信サーバー群のいずれかのサーバーにインストールします。ここでは、例としてオーディオサーバーにインストールします。

### ●ユーティリティ設定



1. セットアップが終了したら、運用管理用ユーティリティ画面が表示されます。事前準備 (18ページ) の設定例を参考にして設定し、[設定保存] ボタンをクリックします。  
→確認画面が表示されます。設定内容を確認して [閉じる] ボタンをクリックしてください。

図 運用管理用ユーティリティ画面

- ① **【教材配信サーバー用 メッセージ受信用ポート】**  
：教材配信サーバーとの通信用受信ポート番号を設定します。
- ② **【IPアドレス設定】**：教材配信サーバーに2枚のネットワークカードが搭載されている場合は、サーバー連携に使用する側のIPアドレスを設定します。
- ③ **【教室名設定】**：教材のコピー先教室名を設定します。教室名は、全角5文字まで表示可能です。

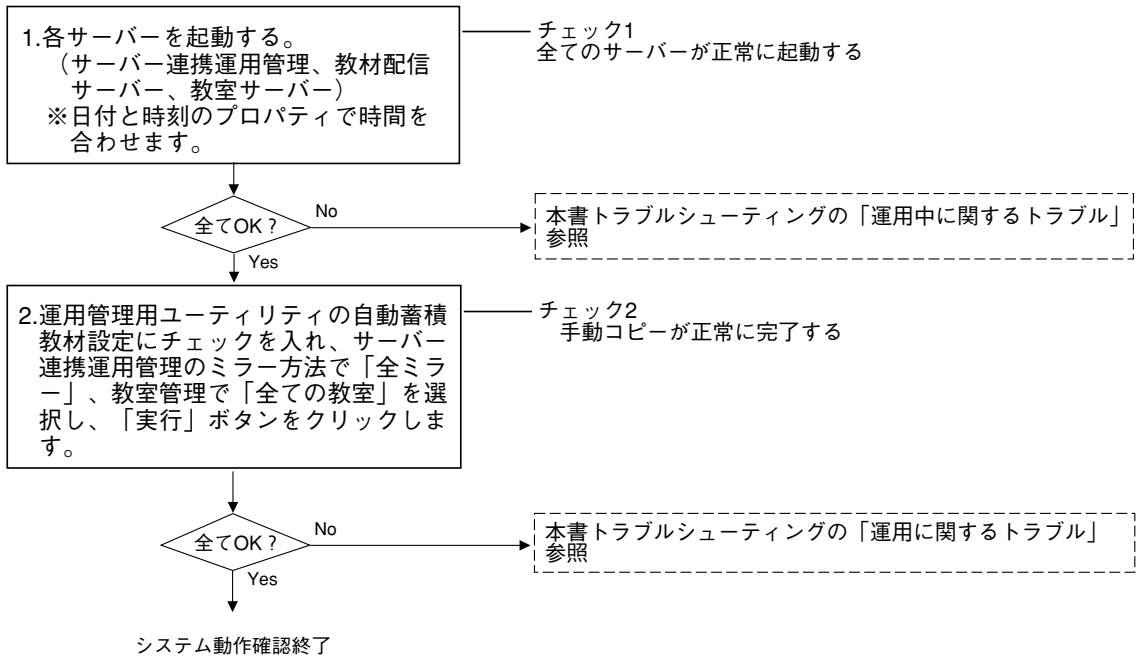
- 
- ④ **【教材配信サーバー設定】**  
：教材配信サーバー名、IPアドレス、通信用送信先ポート番号を設定します。教材配信サーバー名は、全角12文字まで表示可能です。ポート番号は、教材配信サーバーユーティリティの「自端末設定」で制御します。
  - ⑤ **【設定保存】 ボタン**：設定した内容を保存します。
  - ⑥ **【閉じる】 ボタン**  
：ユーティリティ画面を閉じます。設定内容を保存する場合は、**【設定保存】 ボタン**をクリックし、設定確認画面で**【OK】 ボタン**をクリックしてから、**【閉じる】 ボタン**をクリックしてください。
  - ⑦ **【自動蓄積教材設定】**：各教室サーバー内に蓄積された自動蓄積教材を他の教室へミラーリングする場合はチェックします。
2. インストール終了画面が表示されます。Windowsを再起動してもよい場合は、**【OK】 ボタン**を、再起動しない場合は、**【キャンセル】 ボタン**をクリックしてください。
  3. Windowsの「コントロールパネル」から「管理ツール」を開き、「サービス」を選択してサービス画面を表示します。  
「L3Stage Data Mirroring Control」の状態が「開始」、スタートアップの種類が「自動」になっていることを確認します。

### ●インストール後の設定変更のしかた

1. Windowsの「スタート」メニューから「プログラム」→「サーバー連携」の「運用管理用ユーティリティ」をクリックします。
2. 運用管理用ユーティリティ画面（28ページ）が表示されます。  
→設定方法については、28～29ページをお読みください。
3. 設定が完了したら、**【設定保存】 ボタン**をクリックします。  
→更新確認画面が表示されます。
4. 更新確認画面で**【OK】 ボタン**をクリックしてから、**【閉じる】 ボタン**をクリックしてください。

# 動作確認

システムの設置・接続・ソフトウェアのインストール後には、必ず以下の手順に従ってシステム動作チェックを行ってください（システム構成上、該当する項目のみ行ってください）。



# トラブルシューティング

ここでは、動作チェック時および運用中に起こったトラブルへの対処方法を説明します。「確認していただく内容」に従ってご確認ください。それでも直らないときはシステムの電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

## 運用中に関するトラブル

症状	確認していただく内容
状態表示領域に「接続不可能」または「接続不能」と表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>● サーバー連携運用管理の「運用管理」と教材配信サーバーの「教室サーバー設定」の設定内容の整合性を確認してください。</li><li>● サーバー連携運用管理で、教材配信サーバーの「教室サーバー設定」で入力されていない教室番号を選択していないかを確認してください。</li><li>● 教材配信サーバーソフトのサービスの設定を確認してください (☞26,27ページ)。</li></ul>
状態表示領域に「***との接続失敗」と表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>● 運用管理用ユーティリティの「教材配信サーバー設定」で教材配信サーバーのIPアドレスを確認してください。</li><li>● 各サーバーが起動しているか確認してください。</li><li>● ネットワーク機器が正常に稼働していることを確認してください。</li></ul>
状態表示領域に「待機中ではない」「教材配信サーバー有り」、「ミラーリング中断」と表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>● 運用管理用ユーティリティの「教材配信サーバー設定」で教材配信サーバーのIPアドレスを確認してください。</li><li>● 自動/手動コピー実行中である可能性がありますので、確認してください。</li><li>● 各サーバーが起動しているか確認してください。</li><li>● ネットワーク機器が正常に稼働していることを確認してください。</li></ul>
状態表示領域に「***に未共有フォルダーが存在します」と表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「***」が表示された教室の共有フォルダーの設定を確認してください (☞17ページ)。</li></ul>
状態表示領域に「***でエラー発生」と表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>● 教材配信サーバーユーティリティのFTPパス設定と、教室サーバーユーティリティのミラー先パス設定との整合性がとれているか確認してください。</li><li>● 教材配信サーバーユーティリティのFTPパス設定と、FTPサーバーの設定との整合性がとれているか確認してください。</li><li>● 教室サーバーのハードディスクの空き容量が不足していないか確認してください。</li></ul>
状態表示領域に「通信エラーが発生」と表示される	<ul style="list-style-type: none"><li>● 設定しているポート番号が他のアプリケーションと競合していないか確認してください。</li></ul>

<b>便利メモ</b> おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WE-AS881A
	販売店名	電話 (      )      -				

**松下電器産業株式会社**

**首都圏本部**

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目15番5号      電話   フリーダイヤル   0120-878-410